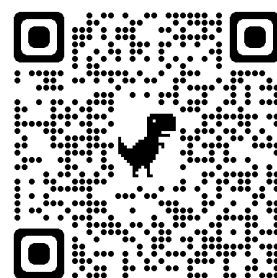


新型コロナワクチン接種を受けられる皆様へ

接種日までに

○当日の接種をスムーズに進めるために、前日の時点でききとりを実施しています。右のQRコードを読み込んでください。読み込みできない方は、当院までご連絡ください。



○当日の問診では、右の3つについて確認します。

①-1.ワクチンの効果について

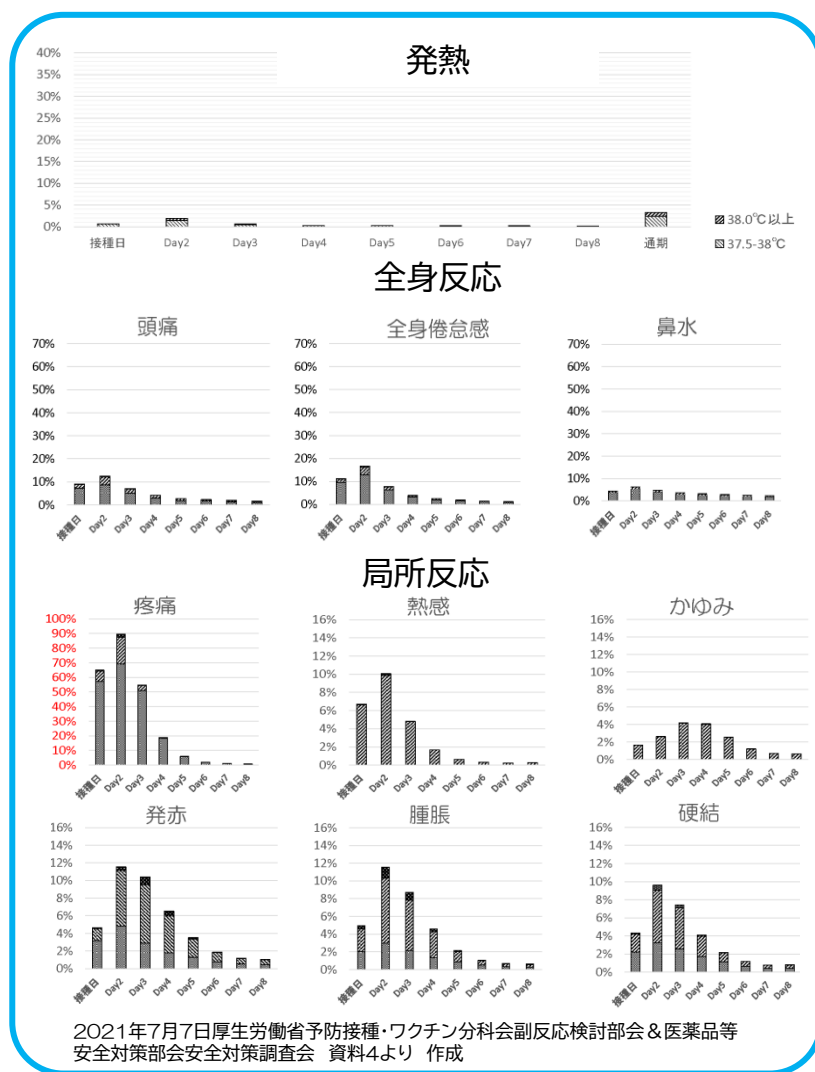
海外6カ国で実施された臨床試験では過去に新型コロナウイルスの感染歴がない場合で95.0%のワクチン有効率が確認され、感染歴の有無を問わない場合でも94.6%のワクチン有効率が確認されています。日本でも、同様の効果があると推測されています。

ワクチンの効果と副反応についての理解
予防接種健康被害救済制度の認知
重いアレルギー反応の既往

※妊婦の接種については、事前に厚労省や産婦人科関連学会から出された資料をQ&Aとして当院HPから見れるようになっていきます。ぜひ一度ご覧になって下さい。

①-2.副反応について

実際に日本で接種した約20000人を対象にした健康観察調査のうち、1回目接種後の結果を右図に一覧にして示します。発熱症状は比較的少ないですが、様々な局所反応は疼痛をはじめとしてみられています。2回目接種後のほうが、副反応が出やすいといわれています。特に、翌日に37.5℃以上の発熱が3人に1人に起きています。2回目接種後の副反応については、1回目終了後、もしくは2回目の接種時に資料をご用意します。



新型コロナウイルスワクチン接種を受けられる皆様へ

接種券(クーポン券)に同封されている「新型コロナウイルスワクチン予防接種についての説明書」をよくお読みになり、ボールペン等で予診票の記入をお願いします。
(鉛筆やこすると消えるボールペンは使用しないで下さい)

接種当日の注意点

○体温測定・体調の確認

前日にもききとりを行います。自宅で体温測定をお願いします。
37.5℃以上の発熱がある場合、体調がすぐれない場合は接種できません。

○服装

マスクを着用し、肩を出しやすい服装でおいでください。
秋の気候の上、会場は換気を行いますので寒く感じる方もいらっしゃるかと思います。
寒いのが苦手な方は、上から重ねられるものをご持参いただいたほうがよいと思います。

○持ち物

□接種券(クーポン券)

□本人確認書類(運転免許証、健康保険証等)

□予診票(ボールペン等で記入したもの)

□健康保険証・お薬手帳(接種後、体調不良の場合に必要となります)

□母子健康手帳(夫・パートナーの方のみ場合も必ずお持ちください)

○接種券(クーポン券)について

これは、予約時と、接種時に必要となります。
忘れずに台紙ごと持参ください。

予約受付の際にこの番号を確認します。

予約日時と会場をご自身でご記入ください。

2回分の接種券がシールになっています。剥がさずにそのまま台紙ごと会場にお持ちください。

接種後に接種日・場所等が記入されます。接種の記録となりますので、2回目接種後はお薬手帳に貼るなど大切に保管してください。

接種できない人・接種に当たり注意が必要な人

接種不適合者（接種を行いません）

- ① 明らかな発熱を呈している。
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかである。
- ③ 接種しようとする接種液の成分に対してアナフィラキシーを呈したことが明らかである。
- ④ その他の理由により予防接種を行うことが不適当な状態である。

接種要注意者（接種の適否を慎重に判断してください）

- i 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症又は凝固障害を有する人
- ii 過去に免疫不全の診断がなされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- iii 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する人
- iv 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人
- v 過去にけいれんの既往のある人
- vi 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある人

予防接種健康被害救済制度について

ワクチン接種では、副反応による健康被害が、極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

救済制度では、予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。

アナフィラキシーと迷走神経反射

アナフィラキシー：1人/16000人程度
（ファイザー mRNAワクチン）

体が急にカッと熱くなり、その後発疹が出て咳や呼吸苦が出現します。
熱くなったら待たないですぐに申し出て下さい。

血管迷走神経反射とアナフィラキシーの特徴

	発症時期	症状
血管迷走神経反射	接種直後から	徐脈、 血圧低下
アナフィラキシー	接種数分後から	頻脈、皮膚症状 (膨疹、丘疹)、 血圧低下

アナフィラキシーと血管迷走神経反射を判別するための図



※国立病院機構三重病院の資料を基に作成

新型コロナワクチン接種を受けられる皆様へ

接種当日の流れ

①

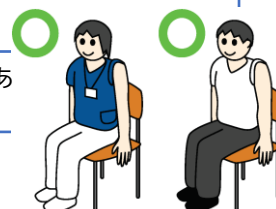
- ・予約時間の約15分前まで来院ください。受付へ進んでいただき、検温、
- ・必要な書類の確認を行います。確認出来たら、問診待合へ進みます。

②

- ・医師が問診を行います。問題なければ、接種へ進みます。
- ・自由診療にはなりますが、解熱鎮痛剤や頭痛、倦怠感に対する処方はできますので、問診の際に医師にお尋ね下さい。

肩がしっかり露出できるよう準備をお願いします。

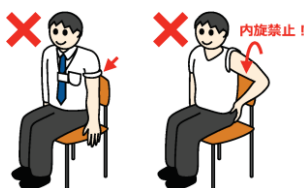
夕方からの接種で、しっかりと換気を実施するため、寒く感じることもあるので、羽織れるものをご用意いただいたほうがよいかもしれません。



③

- ・看護師が接種を行います。
- ・背もたれのついた椅子に座ります。肘は自然に下ろした姿勢
- ・で手のひらが体幹を向くようにします。

肩が十分露出されていない



腰に手を当て肘を張った状態
(肩関節を内旋している)



①前後の腋高ひだの上縁を結ぶ線
(上腕と体幹が分かれる高さ) と、
②肩峰中央からの垂線の交点が入入点

④

- ・所定の場所で15～30分間、経過観察をします。
- ・接種済証の交付、2回目の予約の確認、案内の配布、
- ・処方希望された方は会計後薬をお渡しして終了となります。